

授業科目 感染防御と管理

【担当教員名】 鈴木 潤子、葛城 啓彰	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】				
1. 科学的根拠に基づく感染防止対策を理解する。 2. 具体的な感染防止技術を習得する。 3. 感染管理概論を理解する。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
1. 感染対策の重要性を理解できる。 2. 標準予防策と感染経路別予防策の考え方を理解できる。 3. 適切な手指衛生の方法とタイミングを理解し、実践できる。 4. 防護用具の正しい選択と着脱方法を理解し、実践できる。 5. 標準予防策に基づく、器材の処理方法、環境整備、廃棄物の処理方法が理解できる。 6. 職業感染対策を理解できる。 7. 部門別感染防止対策を理解できる。 8. 看護における感染管理の目的と、感染管理者の役割を理解できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	微生物，細菌学			葛城啓彰
2	微生物学，細菌学			葛城啓彰
3	感染対策の重要性，標準予防策の考え方，適切な手指衛生の方法とタイミング		1, 2, 3	講義，演習
4	適切な防護用具の着用方法と選択，洗浄・消毒・滅菌の考え方，適切な環境整備と廃棄物処理方法		1, 4, 5	講義，グループ討議
5	感染経路別予防策，職業感染対策（針刺し，ウイルス性疾患，結核）		1, 2, 6	講義，演習
6	まとめ（「こんなときどうする？」を考える）		1~5	グループ討議，発表
7	部門別感染防止対策（ICU，小児科，NICU，手術室，高齢者施設，在宅）		1, 2, 7	講義
8	感染に関する法律，感染に関連する世界情勢，感染管理とは，感染管理者の役割		1, 8	講義，レポート
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)		資料を配布します		
参考書		ベストプラクティス NEW 感染管理ナーシング	洪愛子編集	株式会社学習研究社 2006・2,800円・初版
その他の資料				
【評価方法】		【履修上の留意点】		
授業出席状況 10点 レポートによる評価 10点 試験等による評価 80点				